

日本人に多い「肩こり」に特化した 業界初*1 のつかみほぐしメカユニット搭載
つかんでほぐす新発想、コンパクト&フル装備モデル
サイバー リラックス
「CYBER-RELAX マッサージチェア AS-770」
2015年1月10日新発売

1954年に世界で初めてマッサージチェアを量産化し、2014年8月に第一号モデルのマッサージチェアが「機械遺産*2」に認定された健康機器メーカーの株式会社フジ医療器(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:木原 定男)は、日本人に多い「肩こり」に特化したメカユニットを搭載した「サイバーリラックス マッサージチェア AS-770」(以下「AS-770」)を全国の家電量販店で2015年1月10日(土)より発売いたします。

(*1)メカのみによる上下もみ玉稼動制御、2014年12月現在

(*2)日本機械学会が、歴史的意義のある機械技術関連遺産を大切に保管し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に2007年より認定開始。



ブラック(BK)



レッド×ブラウン(RB)

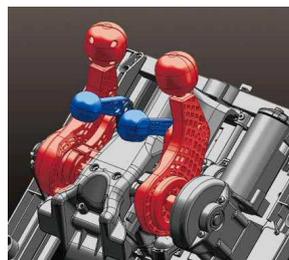


キャメル(CA)※限定色

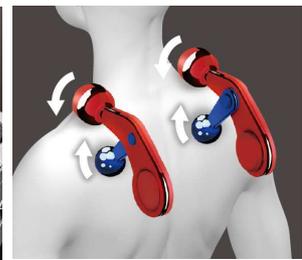
近年、マッサージチェアは、さまざまな革新的進化を遂げてきましたが、すべてのマッサージチェアが追い求める最大の要素は、「いかに人の手の動きに近づけるか」でした。当社は、今回の新製品「AS-770」を開発するにあたり、全身をきめ細かくマッサージするだけでなく、日本人に多い「肩こり」に注目し、肩まわりのコりに特化した“つかんで”ほぐす動きを実現したメカユニットを独自に開発しました。

■肩のコりを“つかんで”ほぐす！業界初「つかみほぐしメカユニット」

「AS-770」には、業界初となるメカユニット「つかみほぐしメカユニット」を搭載しています。これは、当社独自の技術で、メカのみで上下2つのもみ玉の動きを制御し、これまで再現することが難しかった筋肉をつかむ動きを実現しました。この上下に動く2つのもみ玉が肩まわりを挟むように力強く圧迫し、コりをしっかりとらえます。頑固な肩まわりのコりをほぐす新しい2つの専門技「肩つかみ」、「肩たたき」を駆使し、筋肉を深く刺激し、コりを内側からほぐします。



つかみほぐし
メカユニット



肩つかみ

フジ医療器はマッサージチェアのパイオニアとして、これからもお客様の思いに応える製品を提供して参ります。

<AS-770 製品特長>

■温風で背中全体をじんわり温める「温浴背ヒーター」を搭載！

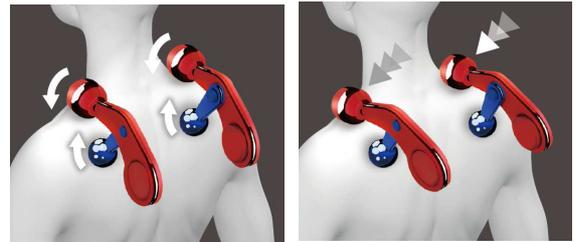
独自機能の「温浴背ヒーター」は、背もたれの内部にセットされたヒーターが温風を送り出し、温風を蓄熱する特殊構造の背パッドを通じて、腰まわりから背中全体にかけてじんわりと温めます。まるでお風呂に浸かっているかのような心地よさで温め、より効果的なマッサージをサポートします。また、足先とかかと部分には、「足裏ヒーター」を採用し、冷えやすい末端部分もじっくりと温めます。



■充実の高機能

●頑固なコリをほぐす 5 つの部位別専門技

「つかみほぐしメカユニット」によって、2つの新しい専門技が加わりました。2つのもみ玉が肩まわりを上下から圧迫する「肩つかみ」と、上のもみ玉がせり出して肩を指圧のような動きで押しほぐす「肩たたき」です。このほか、「肩甲骨ほぐし」「腰ハードもみ」「腰ハードたたき」で、肩甲骨や腰まわりの頑固なコリを部位別にほぐします。



●肩位置自動検出&プログラムフィードバック

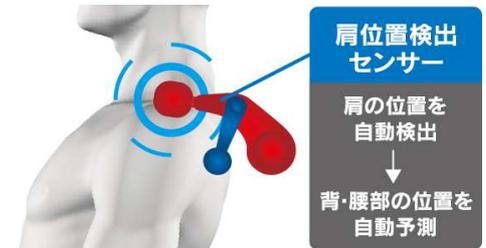
もみ玉のセンサーが自動で肩位置を検出し、背・腰部の位置を自動予測。プログラムに反映することで、適切な位置でマッサージをおこないます。

●肩、背、腰の部位別強弱調節機能

もみの強さは、肩 9 段階、背 2 段階、腰 5 段階と部位ごとにきめ細かく調節することができます。

肩つかみ

肩たたき



■やさしく包んでほぐすエアーマッサージ

肩ぐう、腕、骨盤、ふくらはぎ、足の各部位に搭載された、エアータグが全身を心地良く圧迫。2段階の強弱調節が可能です。

■「ストレッチ」で全身を伸ばしてリラックス

エアータグで身体を固定し、もみ玉の動きで首すじから足までをくまなく伸ばす「全身ストレッチ」と、むくみやすい脚をケアする「フットストレッチ」機能を搭載。

■インテリアにあわせて選べる 3 色展開

「AS-770」は、ブラック、レッド×ブラウン、キャメル(限定色)の 3 色展開で、お部屋のインテリアにあわせてカラーをお選びいただけます。



<新製品概要>

- 品名 マッサージチェア AS-770
- 愛称 サイバーリラックス
- 本体色 ブラック(BK)、レッド×ブラウン(RB)、キャメル(CA)※
※キャメル(CA)は限定色(受注生産)
- 本体寸法(約) 【オートマン収納時】幅 680×奥行 1,270×高さ 1,060(mm)
【肩・脚部最大使用、リクライニング時】幅 780×奥行 1,870×高さ 770(mm)
- 本体質量(約) 62kg
- 定格時間 20分
- 電源 AC100V (50/60Hz)
- 消費電力 155W (ヒーターのみ 75W)
- リクライニング角度(約) 124~165度
- 医療機器認証番号 226AKBZX00142000(家庭用電気マッサージ器・管理医療機器)
- メーカー希望小売価格 オープン価格

＜フジ医療器 会社概要＞

株式会社フジ医療器は、1954年創業の「美と健康」にまつわる商品を提供する健康機器メーカーです。世界で初めてマッサージチェアを量産化した実績を持ち、現存する第一号機は、マッサージチェアのルーツとして象徴的な存在であると評価され、2014年に「機械遺産」に認定されました。創業以来、マッサージチェアのパイオニアとして、エアバッグを使ったマッサージチェアの開発や、業界初の体形感知システムなどを搭載したマッサージチェアを製造し、高機能・高品質を誇る革新的な商品は、日本国内外において多くのお客様に選ばれ続けています。

社名	株式会社フジ医療器
設立	1965年4月
代表取締役	社長 木原 定男 上席副社長 中西 広幸 副社長 三ヶ尻 義治
本社所在地	大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル14階
電話番号	(06)4793-0611(代)
事業内容	健康・美容機器の製造、販売、輸出入
資本金	300百万円
正社員数	350名

＜参考＞

■世界初の量産型マッサージチェア第一号機「フジ自動マッサージ機」が「機械遺産」に認定

創業者である藤本信夫が、1954年に世界で初めて量産化したマッサージチェア第一号、「フジ自動マッサージ機」が、2014年8月に一般社団法人日本機械学会の「機械遺産」第68号に認定されました。

■マッサージチェアの歴史＝フジ医療器の歴史 フジ医療器 60年の歩み

マッサージチェアの歴史は、今から60年前に遡ります。1954年、フジ医療器創業者の藤本信夫が、街角で拾った野球ボール、車のハンドル、自転車のチェーン等の廃材からマッサージチェアを開発。銭湯を中心に営業活動を行って徐々に販売台数を伸ばし、マッサージチェアを一般に広める土台を作りました。その後マッサージチェアは、新機能を追加しながら画期的な進化を遂げ、全身を包み込む現在のようになりしました。



フジ医療器第1号機

1954年誕生
創業者 藤本信夫が不用品や廃品を集めて作った試作品を経て製品化した木製マッサージ機。
2014年に「機械遺産」に認定。



かあさん FB-302

1970年発売
“もみ”と“たたき”が一台でできる「夢のマッサージ機」として発売。



Dr.ローラー FP-401

1979年発売
もみ玉がローリングしながらマッサージする「ローラー式」が誕生。リクライニングも可能に。



ロイヤルチェア MC-133

1995年発売
業界初のエアバッグのみを使ったマッサージチェア。従来品にはなかった下半身(もも・脚)へのマッサージが画期的だった。



CYBER-RELAX AS-970

2014年発売
「極上のパーソナルケア」をコンセプトに、業界初の4つの30分専門コースを搭載した最高峰モデル。



CYBER-RELAX AS-850

2012年発売
マッサージに緩急を取り入れた「極メカ4D」を搭載。マッサージ師のような絶妙な力加減が再現可能に。



CYBER-Relax AS-001

2001年発売
体型を感知し最適なマッサージプログラムを選ぶ「3Dポイントナビセンサー」など、「業界初」の技術を搭載。